

東京大学全学研究科等横断型教育プログラム

日本・アジア学

平成24年度シラバス

Japan-Asian Studies Program

Academic Year 2012-2013

高齢化社会にあるアジアは、がんの急増に直面しています。激動するアジアを広く深く知ることをめざす、日本・アジア学における本講座は、がんを医学はもとより、政治・経済・文化など様々な領域から捉えてみる場です。

これまで、アカデミアの中でも、文理融合が声高に語られながらも、どこか理系の科学技術予算獲得のための方便としての文の智慧であったり、文系学問の思考のための素材としての理の現状分析であったりして、その事柄の本質を領域を超えて捉えることがなかなかできてはいませんでした。

2年目を迎える本講座は、各分野の第一人者の方からの具体的な視点によって、アジアのがんに纏わる普遍的課題を分野を越えて考えることにより、混迷の時代にアジアで生き延びる新しい知の構築を目指したいと考えています。

問われるべきことは何なのか、受講者は、それぞれの専門領域にひきよせて、テーマごとに深掘りされた場所まで降りて、問いを立て各回の講師と対話することにより、自らの研究の相対化の眼差しも掴んでいくことに繋がっていくはずです。

アジアでがんを生き延びる

地域文化研究

特別講義II

- 10月17日 「学びを科学する 学際で創りあげる学びの場」
中原淳先生 東京大学 大学総合教育研究センター准教授
- 10月31日 「がんを乗り越えるためにアジアができること」
加藤益弘先生 アストラゼネカ株式会社代表取締役会長
- 11月 7日 討論「横断的専門知による研究領域の相対化の視点」
- 11月14日 「アジア太平洋地域の国際公共財とは」
谷内正太郎先生 早稲田大学日米研究機構教授 元外務事務次官
- 11月21日 「アジアバロメーターからみたアジアの未来」
田中明彦先生 独立行政法人JICA理事長
- 11月28日 「いのちの現場を読み解く」
波平恵美子先生 お茶ノ水女子大学名誉教授 文化人類学
- 12月12日 「グローバルヘルスアジェンダとしてのアジアのがん」
渋谷健司先生 東京大学医学系研究科国際保健政策学教授
- 12月19日 「アジアの食からみた文化とがん」
服部幸應先生 学校法人服部学園理事長
- 1月 9日 「アジア医療支援とがん」
笹川陽平先生 日本財団理事長
- 1月16日 「ゲノムから読みとく アジアとがん」
菅野純夫先生 東京大学大学院新領域創成科学研究科教授
- 1月23日 討論「アジアにおけるグローバリズムとナショナリズムの桎梏」
- 1月30日 討論「アジアそしてがん 今、この二つの難問を
どう理解して 何を伝えることができるのか」

アジアで
がんを生き延びる
2012年冬学期講義日程
水曜日 6限
18:30~20:00

教室

東京大医学部 教育研究棟
第1セミナー室(2階)
第8セミナー室(13階)
※第8セミナー室は10/17のみ



www.siccn.org

www.asnet.u-tokyo.ac.jp

アジアでがんを生き延びる ～地域文化研究特別講義 II～

Surviving Cancer in Asia

科目番号 Course ID Number	31M220-1327S、31M220-1327W(修士master) 31D220-1327S、31D220-1327W(博士doctor)	使用言語 Language	日本語 Japanese
責任教員 Schools	赤座英之(先端研) Hideyuki Akaza (RCAST)	講師陣 Lecturers	赤座英之、河原ノリエ、増井徹、井上肇、堀江重郎、 高橋悟(モデレーター)
場 所 Venue	医学部教育研究棟第1セミナー室(2階)、 第8セミナー室(13階) 1st or 8th Seminar Room, Faculty of Medicine Experimental Research Bldg., Hongo Campus	キーワード Keywords	グローバルヘルスアジェンダ、国際共同治験、超高齢化社会、 歴史認識、癌研究国際戦略 Global health agenda, International clinical study, Super aged society, Understanding of history, Strategic investigation on comprehensive cancer network
開講予定日 Start Date	夏学期: 4月18日、25日、5月9日、16日、23日、30日、6月6日、20日、27日、7月4日、11日、18日、25日 冬学期: 10月17日、31日、11月7日、14日、21日、28日、12月12日、19日、1月9日、16日、23日、30日		
授業時間 Semester/Time	通年、水曜日、6限 (18:30-20:00) All year, Wednesday	履修上の注意 Important points concerning enrollment	成績は、レポート。 夏(2単位)・冬(2単位)、それぞれ単独で履修も可能。 大学院生以外の聴講も可能。(事前登録必要)
授業内容 The contents of a lesson	感染症から非感染症へ疾病構造が変容する中、アジアにおけるがんは急増している。がんという病には、遺伝的素因や生活習慣など、長い時間軸の中でのひとのくらしの営みや文化が色濃く影を落としている。これまでアジアは、医療水準、医療者、患者の価値観もまちまちで、データも単純比較できず、連携が難しい地域であった。経済成長著しい一方、未だにこの地域に横たわる、歴史的負債は大きく、グローバリズムとナショナリズムの「ねじれ」が先鋭に浮かび上がる地域である。アジアのがん医療における、新規薬剤開発や安全かつ有効な治療法の開発などを旨とする「総合癌研究国際戦略推進」寄附研究部門は、その活動の一つとしてがんという共有課題を乗り越えることで、この「ねじれ」を克服していくことを目指し、がんをグローバルヘルスアジェンダにするなどの政策提言活動を行ってきている。がんは政治、経済、文化など、様々な課題と密接にかかわっている病である。それぞれの領域の第一人者に、アジアのがんに纏わる問いを投げかけ、日本がアジアとどう向き合うべきなのか、対話の回路としての語りを重ねたいと考えている。		

Against the backdrop of a global transformation in the structure and nature of disease, with focus shifting from infectious diseases to non-communicable diseases, cancer incidence in Asia is rapidly increasing. Cancer is a pernicious disease that develops over a long period of time, affected by genetic factors and lifestyle choices. It is a disease that casts a long, dark shadow over human culture and activities. To date in Asia there has been great divergence in medical standards, and also in the values of physicians and patients alike. What is more, data from Asian countries is not immediately comparable, making cross-border cooperation and information sharing difficult. While on the one hand Asia is experiencing astonishing economic growth, there are still historical legacies that pervade the region and a stark disjoint between globalism and nationalism can also be perceived. The Department of Strategic Investigation on Comprehensive Cancer Network aims to develop new drug therapies as well as safe and effective methods of treatment for cancer in Asia. The Asia Cancer Forum is based in this department and is engaged in efforts overcome the regional disjoint in Asia by promoting joint action on common issues. We are accordingly engaged in various policy proposal formulation activities, aimed at achieving the inclusion of cancer on the global health agenda. Cancer is a disease that is closely related to various challenges and issues, which are variously political, economic and cultural in nature. In this course we aim to direct questions relating to cancer in Asia to leading figures and create a forum for dialogue on how Japan should engage with Asia in fighting cancer.

講義は本郷キャンパス



東京大学先端科学技術研究センター

「総合癌研究国際戦略推進」寄附研究部門
赤座英之研究室

〒153-8904 東京都目黒区駒場 4-6-1
駒場リサーチキャンパス 先端研 4 号館 6F
講座・聴講などへのお問い合わせは、
担当 河原 までお願いします。

Tel: 03-5452-5314, Fax: 03-5452-5343
norie.kawahara@med.rcast.u-tokyo.ac.jp